

なるべく介護を受けずに今まで通りの生活を送るには介護予防という考えが大事になります。そこで今回は介護予防に役立つような介護のちょっとした知識をお伝えします。

今回のテーマは・・・【口腔体操】

高齢になると口の中はどうかと思いますか？

- ①食べ物がうまく呑み込めない②飲み物を飲んだ時にむせる③口の中が乾燥している
- ★高齢になるにつれて口の中の唾液量が減り喉元や口の中の筋力が落ちてきます。
- そこで、「口腔体操」のご紹介です。
- 口腔体操も様々ありますが、今回は、「パタカラ体操」をご紹介します。
- (大切な方と一緒に。一人より二人で試して見ましょう！)



唇を合わせてから「パ」	舌を上あごにつけて「タ」	喉の奥に意識をして「カ」	舌をまるめてから「ラ」
-------------	--------------	--------------	-------------

「マンネリ化」すると効果は下がります。自分なりの「アレンジ」はいつもと違い、やる気ができるかもしれません。

こんな工夫もあります！

- ・「パタカラ体操」を少し早くして発声。
- ・手拍子をしながら「パタカラ体操」
- ・音楽に合わせて「パタカラ体操」

ふるさと

うさぎおいし パババババ	かのやま タタタタ
こぶなつりし カカカカカ	かのかわ ララララ
ゆめはいまも パババババ	めぐりて タタタタ
わすれがたき カカカカカ	ふるさと ララララ

寄贈物品・寄付

ご家族の皆様及び地域の皆様より、みのりの丘中郷へ寄贈品をいただきました。誠にありがとうございました。

藤井 信行 様

【令和4年4月～令和4年6月末日】
※寄贈品の内容については省略させていただきます。ご了承ください。

編集後記

今号の広報誌は、昨年度の事業報告となっています。コロナ禍でも各部署工夫を凝らしてよりよいサービスの提供に努めました。皆様のお役に立てていたら幸いです。これから夏本番です。皆様健康に過ごせますように。

介護困りごと相談所

みのりの丘では福祉や介護の困りごとの相談をお受けしています。
(電話(0255-74-2525)での相談も可能ですのでお気軽にご相談ください。)
月曜日～金曜日の平日、8月13日、9月10日、10月8日の土曜日 8:30～17:30

苦情申し立て

期間中、苦情の申し立てはありませんでした。今後もサービス向上に努めてまいります。ご遠慮なくご意見をお寄せください。

★掲載している写真は、ご本人又はご家族の了承をいただいております。ご厚意に感謝申し上げます。
★インターネットブログにて、みのりの丘の日々の様子を公開しております。ぜひ、ご覧ください。

みのりの丘 だより

令和4年7月15日 発行



みのりの丘のご利用者の最近の様子です。皆様、コロナ禍でも元気に過ごされています。

令和3年度 事業報告

コロナ禍により、行事の縮小や中止を余儀なくされましたが、感染症対策を行いつつ可能な活動を行いましたので報告いたします。



防災訓練



無料屋台



エコウォーク



感染症対策

今号は、事業報告となっています。各事業所の昨年度の活動内容は中の見開きをご覧ください。

社会福祉法人 新井頸南福祉会

◇地域密着型介護老人福祉施設 みのりの丘中郷◇ ◇グループホームあすなろ◇
◇小規模多機能型居宅介護事業所 ほのぼの中郷◇ ◇えんじゅの郷デイサービスセンター◇
〒949-2302 新潟県上越市中郷区藤沢998番地1
TEL 0255-74-2525 FAX 0255-74-2533



令和3年度 事業報告



心温かな介護を通じ、生きる喜びと感動あふれる地域づくりを目指します。

みのいの丘中郷 部署目標

- 1、稼働目標の達成
- 2、ユニットケアの利点を活かした利用者本位のサービス提供
- 3、高い平均介護度に対応できる介護の提供

●稼働目標の達成

- ・空床日数7日間をめざし、事業者内のつなぎつながる会議を通じて、入所申込者の情報収集に努めました。
- ・嘱託医や協力歯科医院、看護職員、栄養相談員、機能訓練指導員、介護職員など多職種が協力し、誤嚥性肺炎や尿路感染症などのリスクの軽減に努めました。

●ユニットケアの利点を活かした利用者本位のサービスの提供

- ・利用者個々の心身の状態、有する能力や思いなどについて把握し、日々の情報を共有し、統一したケアを提供するとともに、心身の状態を維持できるように努めました。

●高い平均介護度に対応できる介護の提供

- ・施設全体会議（研修）や事業所別会議（研修）の中で、職員の資質向上のために必要な研修をし、情報を共有できるよう努めました。また、安全で効率的な職場環境になるように環境整備に努めました。



毎日の体操



日々の情報共有の様子

あすなろ 部署目標

- 1、ご利用者の多様なニーズに対応できるようにご家族とのつながりを大切にします。
- 2、個々の認知症への対応力を高め個別ケアの充実を図ります。

あすなろの全体の取り組み

- ・手紙やフォトムービーを作成し、ご家族とのつながりを大切に取り組みました。また、地域とのつながりとして地元商店街の活用やボランティアの方のご協力で畑を行う事ができました。



こもれびユニットの取り組み

- ・1人ひとりが穏やかに過ごせる環境作りを目標にケアに取り組みました。その中で中郷保育園や小学校のご協力のもと、雑巾縫いを行い、心温まるお手紙を頂きました。



ひだまりユニットの取り組み

- ・1人ひとりが『居心地がいい』と思えるような暮らしの実現を目標にご利用者と様々な創作活動に取り組みました。



ほのほの中郷 部署目標

柔軟にサービスを提供する中でご利用者が自宅を拠点としながら住み慣れた地域で安心・安全に過ごせるようにします。

小規模多機能型居宅介護の特徴である通いを中心に、泊り、訪問を組み合わせご利用者の思いにそった生活が送れるようサービスの提供に努めました。

通いや泊りサービス利用時においては身体機能の維持を目指しつつも楽しみやハリのある生活を送って頂く為にも季節毎の作品作りや活動を行いました。

また、訪問サービスにおいては、急なニーズ（体調不良による安否確認や受診介助など）にも柔軟に対応しました。

他には、より確かな介護が提供できるように階段昇降など種々介護研修を行い介護技術の向上に努めました。



作品作り



茶話会の様子



作品作り（ブドウ）



職員研修

えんじゅの郷 部署目標

「今よりもっと！来れば来るほど元気になるデイサービス」を目指し、今できることを大切に、持っている力や笑顔を引き出せるよう「かかわり・はたらきかけ」を行い、自立支援を促進いたします。

生活動作と心身機能の維持向上にむけて機能訓練を行いました。機能訓練＝リハビリと思う方も多いかと思いますが、えんじゅの郷では日常生活の中で「できるようになりたい」、「今できることを続けたい」という思いを実現すべく、実践的な訓練の実施に取り組みました。それぞれの思いを大切にしながら訓練することで満足感が得られるサービスが提供できました。

ICTを活用して介護記録の充実と、業務の効率化を目指し取り組みました。記録時間の削減により、ご利用者と関わる時間が増えたことで、今まで以上に寄り添った支援に繋げる事が出来ました。また、介護予防・健康増進コンテンツ配信システムも合わせて導入しました。



記録システムの導入とタブレットの活用



畑作業の際のスコップを使いながらバランス維持する練習